

令和5年度関東高等学校選抜水球競技大会 兼 第45回関東地域春季水球競技大会 【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場 【2023/6/18】

この試合のプレー集計

準決勝

前橋商 8

2	—	2
2	—	1
1	—	2
2	—	2
1	PSO	3

10 神奈川工

審判： 木下 晃次
荻野 浩明

前橋商	14	SH数	20	神奈川工
	0	速攻数	2	
	4	ST・SB	9	
	6	SH・P誘発アシスト	1	
	46%	GK阻止率	22%	
	3	EX反則数	3	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

昨年度の中学世代の全国優勝を独占した強力1年生が加入した前橋商と、歴史的なチーム作りからスタートし完成年で悲願の全国優勝を目指す神奈川工という魅力のある準決勝第2試合。攻守にバランスが取れた両チームだけに僅差の試合展開が予想され、ベンチワークも勝敗に大きく関わることが予想された。

1P

開始早々、予想に反して神奈川工がセンターボールからのパス回しで神奈川工⑩木村が左サイドのやや高い位置からのシュートを決めて先制すると、続いてまたもや左サイドから③齋藤が決めて前商0-2神工とややあっけない形でスタートした。しかし、この出だしの神工の得点パターンがリズムを崩す原因ともつながっていく。ピリオド後半、神工のシュートミスから前商の右展開攻撃。奥深い位置からセンター⑥前田へボールが渡り、そこでペナルティを誘発して追い上げ態勢に(得点者④齋藤)。さらにピリオド終了間際には退水DFを前商が成功させてまたもや右展開で⑨深澤からセンター位置の④齋藤が決めて、前橋商2-2神奈川工で第1ピリオド終了。

2P

両チームの力の拮抗がよく現れた形で、長いラリーの応酬が続いた。神工のシュートミスから前商1年⑦齋藤が状況判断よく右サイドの③正田が決めて前商がリードを奪った。神工も前商のシュートミスを突いて2-1速攻を④鈴木が決めて同点に。直後の再開攻撃で前商⑦齋藤が左サイドを突いてシュートを決め、前橋商4-3神奈川工で前半を折り返した。第2ピリオドでは前商ディフェンスの戻りが早く、神工攻撃をセットに持ち込ませる場面が多くなり、その際の⑦齋藤の下がりDFがかなり効果的で前商ディフェンスが神工を上回っていた。神工側はこの⑦齋藤のDF位置を避けるように左サイドにばかりボールが集まってしまっていた。ゲーム序盤での左サイドからの連続得点の残像も影響していたような展開で、動きの少ない展開に陥っていた。

3P

前商の攻撃からスタートしたが、⑦齋藤のちょっとしたミスから神工③久保田が退水を誘発し、そこを自身で決めて同点に。しかし、その後は両者互角の展開が続き、長いラリーとなった。ピリオド終盤に前商のオフense反則から神工が右展開に持ち込み、⑤森田からセンター位置へ泳ぎ込んだ③齋藤が決めて神工が1点リード。前商もすかさずセンター⑥前田が決めて、前橋商5-5神奈川工で勝負の行方は最終ピリオドへ。

4P

前商絶好の4-3速攻場面のシュートを外し、神工カウンター攻撃を⑥仁木が決めて神工が一步リード。しかし直後に前商1年生コンビの⑦齋藤からセンター⑥前田ラインが機能して同点。神工③久保田が右45°からループシュートを決めて突き放しにかかったが、神工絶好のペナルティSHを外してしまい、そこを前商⑦齋藤に突かれ、最後は⑧関口に押し込まれて同点でタイムアップ(前橋商7-7神奈川工)。ペナルティ・シュートアウトで決勝進出を争う形になった。

PSO、審判団にミスが出たが、集中力を維持した神奈川工が3人連続で決めたのに対し、前橋商は完全にリズムと集中力を失ってしまっていて失敗の連続。最終的には前橋商8-10神奈川工で、神奈川工が決勝進出を決めた。最後で競り負けた前橋商だが、1年生パワーの威力は十分で、夏に向かってさらなる成長が期待できそうな予感。